

3. 11 東日本大震災10年が経って…

今日3月11日は、日本にとって特別な日です。

みなさんは今、突然大きな地震が起きたら、落ち着いて行動をすることができるでしょうか。

2011年3月11日午後2時46分。M9.0の地震が東北地方を襲いました。そう、東日本大震災です。今からちょうど10年前です。4年生のみなさんが生まれた年の出来事です。当時、先生はその時に働いていた学校の職員室にいました。めまいを起こしたのではないかと勘違いするほど、部屋がゆらゆらと揺れていたのを覚えています。さらに、テレビをつけると街を津波が襲うという恐ろしい光景が広がっていました。

東日本大震災は、被災地が広い範囲に及び、たくさんの大切な命を奪うとともに、国民生活に大きな影響を及ぼした未曾有の大災害となりました。

そこから私たちは何を学習しなくてはならないでしょうか？ これからは生かさなければいけないことは何でしょうか？

それは、災害に対する意識を高めることです。そのときを想像する力をもって本気で向き合うことではないかと思えます。地震はいずれ必ず起きます。そのとき、被害を少しでも少なくするにはどのように行動するとよいのか、どのような準備が必要なのかを真剣に考えなくてはなりません。家族との話し合いも必要だと思えます。

学校では、何度か避難訓練やシェイクアウトの訓練を行いました。どれだけの人が真剣に取り組めたでしょうか？ 訓練だから、いかげんにやってもいいや、という人はいませんでしたか？

“自分の身は自分で守る”

先生がいなくても、周りに人がいなくても、自分の意志で正しい行動をする。

10年前の今日起きた大地震。3.11の教訓を忘れず、大切な自分の命を守れる行動力を身に付けていきましょう。